

アシックス本社東館

ASICS Head Office East Wing

No. 13-018-2011作成
新築
事務所／美術館・博物館

発注者	株式会社 アシックス	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	株式会社 竹中工務店 TAKENAKA CORPORATION	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社 竹中工務店	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

環境デザインと融合した新しい知的創造型ワークプレイス



「健全な身体」を表現する建築空間

神戸ポートアイランドに本社を置くアシックスは、創業60周年記念事業として本社東館を増築した。1・2階を企業博物館、3～5階を開発部門のワークプレイスとしたこの建物は、創業哲学「健全な身体に健全な精神があればかし（あってほしいと願う）」の具現化と継承を意図し、「健全な身体」を表現する建築デザインと「健全な精神」を育む知的創造空間づくりをテーマとした。同時に、本社全体の部門レイアウトを再編し、部門間のネットワークを改善した。既存アトリウムを取り囲む「知の回廊」が、本社竣工後25年を経て完結し、新たなワークプレイスが生まれることとなった。

コミュニケーションを誘発する知的創造型ワークプレイス

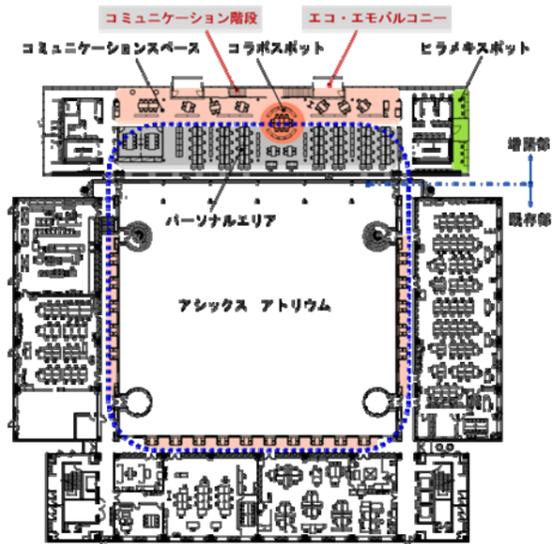
入居する開発部は商品デザインの中心であり、創造力が求められるチームである。「身体を刺激し活性化することで、豊かな知的創造が生まれる」と考え「人と人、人と自然のエモーショナルな出会いを誘発する仕掛け」を周辺環境と呼応させながらワンルームオフィスとして組み立てた。3～5階を貫通する「コミュニケーション階段」と、上下階をずらして配置した「エコ・エモバルコニー」は、垂直方向のコミュニケーションを誘発するとともに、地域に開かれた企業理念を象徴しアクティビティを街に開いている。オフィス内には、中央の「コラポスポット」、窓際の「コミュニケーションスペース」、両端コア背面の「ヒラメキスポット」など、目的と気分によって、自由に選択できる知的創造の場を設け、適度な集中とリフレッシュのできるワークプレイスとした。

所在地	兵庫県神戸市
竣工年	2009年
敷地面積	6,616 m ²
延床面積	4,087 m ² (増築部)
構造	S造、一部SRC造
階数	地上6階

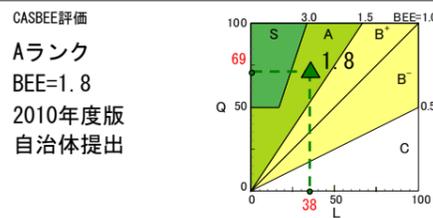


東側外観

全体配置計画



オフィスレイアウト (4階)



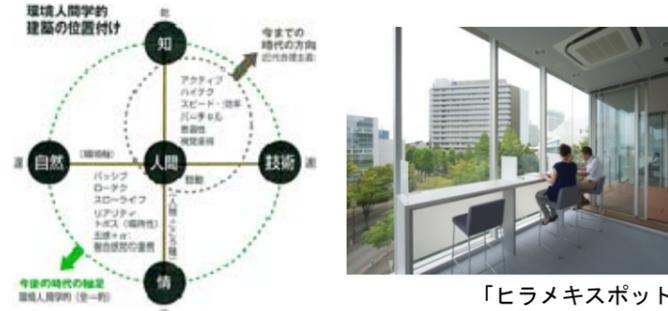
■ オフィスに自然の風を

緑豊かな恵まれた周辺環境と低層オフィスの利点を活かし、自然換気を積極的に導入した。外周部に開閉可能な窓を設け、ワーカーが自由に開閉してオフィスに自然の風を採り入れ、外部環境を感じることができるように配慮した。さらに、南北階段頂部に開口部を設け、「ウインドチムニー（風の煙突）」による自然換気の促進を行った。

竣工後の実測調査では、中間期の自然換気による空調消費電力削減効果が10～19%得られることが実証された。オフィス内に導かれた自然通風によって生じる、室内温熱環境の適度な不均衡が、身体を刺激して知的創造性を高めると考えた。

■ 環境人間的設計手法によるワークプレイスづくり

当社設計部では、環境人間的な視座による研究および設計活動を継続的に行っている。当プロジェクトでは、その視点をオフィス設計プロセスに導入し、研究会でまとめた「環境人間学における主要な10のエモーショナル評価軸」のうち「関係欲求への配慮」「運動行為の誘発」「自然変化による刺激」「周辺環境への配慮」という4つの視点を重視して設計を行った



「ヒラメキスポット」



オフィス内観

設計担当者

統括：増田俊哉、清水弘之／建築：長谷川淳、森田隆、日野宏二／構造：片山丈士、山下靖彦、前川元伸／設備：有尾清二郎、松井秀吉

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

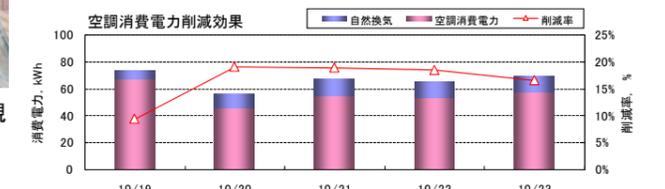
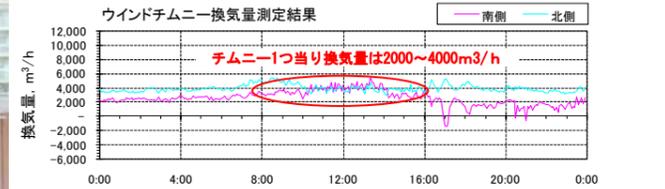
- Q3.2. まちなみ・景観への配慮 (建物周辺緑化、ピロティ、地域開放)
- LR1.1. 建物の熱負荷制御 (高遮熱LOWEガラス、屋上緑化、階層間庇設置)
- LR1.2. 自然エネルギー利用 (ウインドチムニーを活用した自然換気促進システム)
- LR1.3. 設備システムの高効率化 (ブラインド日射制御、人感センサー照明)
- LR2.2. 非再生性資源の使用量削減 (リサイクル材活用、内装材の少量化、内装材と設備機器の分離)
- Z. その他 (スケルトン天井により、意匠性・広さ感・維持管理性向上)



「コミュニケーション階段」と「コラポスポット」



階段頂部の開口部



「ウインドチムニー」による自然換気促進システム